

『アミノ酸と肝臓』

肝臓川柳



『アミノ酸 肝にも効果が あるのさ(ん)』

(あるのさ・・・あるのさん・・・あみのさん・・・力技です)

アミノ酸はタンパク質を構成している物質で20種類あります。

アミノ酸と言うと、すぐ思いつくのが

└・旨味調味料（グルタミン酸）

└・スポーツ飲料水

└・お化粧品

などを連想すると思います。

肝臓とも非常に関係が深く、分岐鎖アミノ酸(BCAA : Branched Chain Amino Acid)と総称する下記のもの特に重要です。



└バリン

└ロイシン

└イソロイシン

肝硬変のような肝臓の力が弱っていて栄養状態が悪く、

└・低蛋白血症の患者

└・血中アンモニア値が高い患者 では

特にこの分岐鎖アミノ酸が多く消費され不足します。

分岐鎖アミノ酸(BCCA)は、体にとってきわめて重要な役割である

└・アルブミン合成

└・アンモニア処理

を行うため、顆粒や粉末の形で肝硬変患者さんに投与し

└・低栄養

└・肝性脳症

を改善をする効果があります（医薬品）

内服のアミノ酸製剤に関して最近の研究では

夜間の方がアルブミンを上昇する為に使われやすいとの理由で

◎ 1日3包 朝1包ー夕食後2包

◎ 1日3包 朝1包ー夕食後1包ー寝る前1包

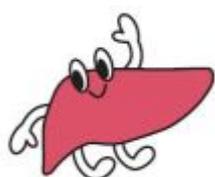
という用法で服用するとアルブミン値の上昇が良いという研究データも出ています。

【注：添付文書の用法では1日3回食後】

▼ほかにも▼

筋肉形成に大変重要であり、スポーツ時の疲労回復にきわめて有効！
最近では、糖代謝を改善し肝癌発生を抑制したり
糖尿病を予防したりする事も分かっています。

強力なパワーを持つアミノ酸が、今大きく注目されています。



これだけ覚えておけば損はない！

今 回 の ポ イ ン ト

肝臓にとってもアミノ酸は非常に重要で、
特に分岐鎖アミノ酸(BCAA)は、肝硬変などで肝臓が弱って栄養状態の悪い方へは、
低栄養や肝性脳症の改善の為、分岐鎖アミノ酸製剤にて十分に補充する必要があります

(文： 福井県肝疾患診療連携拠点病院協議会 野ッ俣 和夫)